



◆年少児クラス

- 初めてのことで涙を出したりしないか心配でしたが、年少を感じさせないそんな力があるのだと終始感動し、見応えもありました。みんなで一つのものを作り上げる喜びは、「もう一回やりたーい!」の言葉に、表われていました。
- 家では甘えませんが、保育園での生活発表会の姿が新鮮でした。家で「いいからいいから」という言葉の出どころが劇ごっこ見ていて分かりました。
- 映した動画を何度も見返しています。今回はクラスごとと言うことで、家族がOKで、きょうだいを連れて来て良かったです。



◆年中児クラス

- こういう生活発表会が、いかに重要なものかを再認識させていただきました。事前の忍者の巻物の配布、幕間の先生方のパフォーマンス、そして本番とひとつひとつの流れが素晴らしかったです。
- 子ども達の成長した姿とともに感動。子どもも練習段階を楽しんできたことが分かりました。

◆年長児クラス

- 子ども達が考え、話し合いながら進めてきたことが、日々子どもの話を聞いていると分かりました。
- 文字を書く子、なわとび、鉄棒、ダンスとそれぞれ違ったものに挑戦したことが、ひとつの劇あそびにまとめられたり、途中でインタビューがあったりなど、一人ひとりの表現ができていて応援したくなりました。
- できるようになったことも成長ですが、子ども同士の関わりが見られたことが嬉しかったです。



◆その他

- 他のクラスを見られないのは残念でしたが、コロナ禍が終息するまで、今回のような形が良いと思います。
- ズーム配信があれば同居でない家族や待ち時間にも見られるので良いのではないかと思います。
- 後方で三脚をたてていても前に座っている方の頭が写り高さの限界がありましたが、階段を準備していただいていたので助かりました。

『新年明けまして  
おめでとうございます』

～考えることの楽しさはつながることへ～

新しい年をご家族ともに健康に迎える喜びを感じられていることと思います。世界中で感染者拡大を続けている新型コロナウイルス感染症は、年末には広島県内でも「オミクロン変異株」の感染が発表され、コロナ終息はまだまだ先のように新たな恐怖も感じておられることと思います。

今年度も残り3ヵ月となりましたが、新型コロナはもちろんのこと、インフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症の感染拡大予防に配慮いただき、新型コロナについては「登園自粛の基準」に関するご理解、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

昨年末には幼児クラスの生活発表会を開催しましたが、同居のご家族をお迎えし、子ども達の表現活動(言葉・音楽・造形・身体など)を通して、成長を確認する場になったことを保護者の皆様からのご感想(アンケート)からも感じているところで、開催できたことを嬉しく思っております。

年少さんは、保護者の皆様に前に「みてみて!」とばかりに舞台から手を振って、「その気になる」あそびとして、初めての生活発表会(うた・楽器あそび・劇ごっこ)を保育者とともに楽しみました

年中さんは、夏頃より遊んできたことをごっこあそびとして(忍者ごっこ・おみせやさんごっこ)変化を持たせ、一つのストーリーに作り上げ、劇あそびに取り組んだり、鍵盤ハーモニカへの挑戦もしました。

年長さんは、小学校との交流を重ねる中で、小学生へのあこがれをごっこの形で取り入れ、ストーリーを考えたようです。劇あそびの中ではインタビューのシーンもあり、セリフではなく、今頑張っていることを自分の言葉で表現するという、年長さんならではの光景も目にしました。合奏や歌では一体感もあり、最後の生活発表会ということで、多くの保護者の皆様の涙も誘ったようでした。

どのクラスもミーティングという形で、

一日の振り返りをしたり、次の日のあそびのイメージを共有したりしていますが、子ども達と保育者が色いろな表現方法の中で、考えを出し合い、試行錯誤しながら創りあげることの何が楽しいかと言えば、きっと「つながること」という協同的な学びの中での実感ではないでしょうか。

一人では味わえない「つながること」、一体感、満足感、達成感は、子ども達と保育者だけではなく、ご家族ともつながる場として、この生活発表会があったように思います。

生活発表会終了後の月曜日、クラスで遊んでいた年長さんに、「お家の人はどんなこと言ってた?」と尋ねてみました。「あのね。〇〇ちゃんがあんなににこにこみんなとやるとは思わなかったけん、お母さんびっくりして嬉しかったよ。」「私の見てたらね、パパは最後に涙が出そうじゃった・・・って言うった。」と自分の言葉で嬉しそうに私に伝えてくれました。

何かと比べ、誰かと比べ「上手だったよ。」という表現で褒めることをしがちですが、親がその時の心の内を素直に伝える表現をすることは、子ども達を伸びやかに生き生きと成長させる子育ての極意かもしれません。

保護者の皆様に認めていただき、そのことが家族中で話題になり、「つながること」を実感した子どもたちは、自信となり更なる意欲へと向かうだろうと予感できました。

日本人は、子育て中によく「どうして言うこと聞かないの!」という表現をしますが、世界の中で幸せ感を持つパーセントの高い、デンマークやオランダの人は「あなたは どう思う?」と子どもが自分の意見を言える言葉かけをするそうです。

家庭でも保育園の中でも自分の意見や気持ち伝えられる場を作ることが、幸せ感につながるのであれば、私達大人の責任は大きいと思います。

『考えることの楽しさはつながること』を実感できる子ども達の基盤のもう一つは、生活習慣の自立です。一人ひとりの子ども達の生活習慣の自立に向け、保護者の皆様と課題を共有することの重要さも痛感しておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。(園長)

1/13(木) とんど祭り

昨年は森浜地区の住民協の皆様のお力添えをいただき園庭にとんどを組んでいただきましたが、今年は菜園付近の畑を貸していただいとんど祭りをする事になりました。

昨年末の餅つきにおきましても、とんど用のお餅もつきました。子ども達とともにとんど飾りを作ったりしながら、無病息災を祈り、地域伝来のとんど祭りを地域の皆様とともに楽しみたいと思います。

1/12日(水)までに、家庭で使用された注連縄、破魔矢など持参されますと、とんど飾りに利用させていただきますので、ご協力をお願いいたします。(雨天の場合は1/14開催)



1/19(水) 済生会巡回支援

幼児クラスがコロナ感染症拡大防止にもつながるようにと、済生会の看護師さんより衛生指導を受けます。手洗いをした後、不思議なジェルを塗って暗闇に入ると、汚れの残っている部分がくっきりと浮かび上がるのしかけに子ども達はどんな反応をするでしょうか。手洗いへの関心が深まると嬉しいです。引き続き登園時の手指消毒も親子で必ず励行してください。

冬場の交通安全について(お願い)

- 送迎時の道路の凍結や雪などによるスリップ、転倒に、車や自転車での送迎の保護者の皆様は、気をつけてください。
- 表門を出ると子ども達だけで駐車場まで走る姿を見かけます。交通安全指導を園でもしておりますが、飛び出しの危険とともに、冬場は転倒の危険のあることを踏まえ、ご協力をお願いいたします。
- 駐車場で車のサイドミラーを出したまま駐車している保護者の方がおられると、苦情が寄せられています。乗り降りに危険ですし、転倒の原因にもなりますので、サイドミラーは閉じるようにしましょう。
- 表門前のゴミステーションや寝具・衣料店前に車を駐車しておられる保護者の方を見かけます。保育園としては禁止しておりますので、ルールを守って駐車場への駐車をお願い致します。

